

お茶会

医療法人 啓仁会 介護老人保健施設
所沢ロイヤルの丘(埼玉県所沢市)
ケアワーカー 杉山 太一郎

ロイヤルの丘では各階の利用者様の交流を広げようと昨年の3月から、毎月第3水曜日にお茶会を開催しています。お茶会といってもお点前の細かい作法や手順などは気にせず、「おいしい抹茶」と「おいしいお菓子」を味わい楽しんでいただくことを第一にしています。しかし、いくらお点前を気にしないとはいえただ机の上でお茶を点てて飲むのでは雰囲気もよくなく面白くないものです。そこで配置を工夫してみています。

まずはお茶を点てている姿を見やすくするため、簡易ベッドの上に畳を敷き職員が正座しそこでお茶を点てていきます。利用者様が使う机はそこを囲むようにセッティングします。

次にお茶会といえは掛け軸とお花です。掛け軸は用意出来ていませんが、お花は4階フロアにある季節の花をお借りしこれも利用者様から見やすいようにセッティングします。そして本来ならば鹿威しがあれば尚良いのですが、代わりに琴の音楽をCDで用意しバックミュージックとして流しています。実際の利用者様の反応はというと、参加した利用者様は皆明



お茶会

るい表情で過ごされています。

利用者様からは「昔やっていたから懐かしい」「もうお茶なんて出来ないと思ってた」といった声や中には「お茶はやい方わからないけど楽しいね」「や」「お菓子がおいしい」と笑って話す方もいました。利用者様の中には若い頃お茶をやってきたという方もいて一緒にお茶を点てていただいたりもしています。会を重ねるごとに顔なじみの利用者様も増え「また会ったわね」「今月もきちゃった」と交流が深まっているようでした。

今後も利用者様が笑顔で過ごせる場を工夫し提供して行きたいと思っています。



美味しいお茶作ってね

業務研究発表会を終えて

医療法人 啓仁会
石巻ロイヤル病院(宮城県石巻市)
看護部教育委員会 大友 伸子

私たち看護部では、看護研究発表会を毎年企画しています。今年の3月にも、看護職員の意識調査や、業務改善・作業効率向上のための症例研究、排泄や褥瘡処置に関する患者さんの負担軽減にむけた取り組みなどの研究発表を行っており、今回、その中から5題を「第1回石巻ロイヤル病院業務研究発表会」で演ずる機会をいただきました。

当院開設6年目にして各専門職による研究発表を行うのは初めての試みで、看護部、リハビリテーション科、検査科、地域連携室から合計10題、効率的な業務改善の事例や、患者サービスの向上にむけた、それぞれの日ごろの業務に関する事柄について、調査・研究し、その成果や創意工夫した結果について、二日間にわたり開催されました。当日は会議室が満席となり、立ち見が出るほどで、各科の発表に対する関心の高さが伺われました。

最優秀賞には、リハビリテーション科の『在宅復帰患者者に対して退院後の訪問を振って、一緒に太鼓を叩いているように。』
そして力強い撥さばきを楽しんだ後は、浴衣に着替えた職員による盆踊りです。曲は「東京音頭」と「炭坑節」。

今年も柳太鼓の皆さんが、ボランティアで来てくださいました。ありがとうございました。太鼓の打ち手には可愛らしい子供の姿もあり、皆顔をほころばせています。演目が始まると、太鼓のリズムに合わせご利用者の皆様も手に持ったうちわ



私たちが看護部では、看護研究発表会を毎年企画しています。今年の3月にも、看護職員の意識調査や、業務改善・作業効率向上のための症例研究、排泄や褥瘡処置に関する患者さんの負担軽減にむけた取り組みなどの研究発表を行っており、今回、その中から5題を「第1回石巻ロイヤル病院業務研究発表会」で演ずる機会をいただきました。

業務研究発表会に参加して、患者様を中心としたチーム医療を行ううえで、それぞれの専門的知識や技術の向上を目指すとともに、他職種への理解を深め、協働し、業務を活性化することの大切さを改めて実感しました。

第2回の業務研究発表会に向け、また来年度の新棟開設に向けて、石巻ロイヤル病院は、さらなる患者サービス、医療・看護介護の質の向上に努めるプロフェッショナルな集団であり続けたいと思います。

医療法人 啓仁会 介護老人保健施設 四季の里(埼玉県新座市) 4F ケアワーカー 続橋 康子

納涼会
8月10日(土)2階フロアにて『納涼会』が行われました。

男性職員2名が、手作りのお神輿を担ぎ、「フッショイ!フッショイ!」と登場。祭りの始まりです。

今年も柳太鼓の皆さんが、ボランティアで来てくださいました。ありがとうございました。太鼓の打ち手には可愛らしい子供の姿もあり、皆顔をほころばせています。演目が始まると、太鼓のリズムに合わせご利用者の皆様も手に持ったうちわ



柳太鼓の皆さん



浴衣姿の職員による艶やかな盆踊り